

出張経費の削減からはじめよう

法人カードは経費処理の効率化に役立つこと、知っていますか。

特に、中小企業や大企業だと接待や交際費、出張費、業務に関わる費用など使う金額もさることながら、社員数が多くなるとその分、経費精算書の確認も一苦労だ。現金出入金の担当者も配置しなければならなく、そこには人件費も発生する。経理担当窓口社員から経費精算の依頼を受ければ、領収書記載金額を払い出し、その都度、取引内容や支払い額などを現金出納帳に記録すると同時に、残高照会も必要で、領収書の保存など面倒な作業が付いてくる。一見、小口現金があると便利なのにもあるが、それを管理するという煩わしい仕事が生じ、また、支払票やその合計額を増し増しといった不正、盗難など内部統制上の欠陥

(株)ジェーシービー

も見てくる。

これらの課題をシンプルに解決するのが法人カードの活用だ。利用方法は私たちが日常使用しているクレジットカードと大きく変わらないが、企業一括支払い型の法人カードは、利用日時などの明細を会計ソフトにデータ連携することで仕分けや集計などに費やす作業時間の大幅な短縮、経理事務の負担も軽減できる。また、社員の立替金や仮払金の経費精算業務を省くことができ業務効率化の打ち手の一つになる。

出張をより効率的に

なかでもJCBが推進するのが出張効率アップの実現だ。各JRの「みどりの窓口」でJCBカードが利用できるほか、昨年からはJR九州の「インターネット列車予



世界にひとつ。
あなたにひとつ。

株式会社ジェーシービー九州支社

<http://www.jcb.co.jp/corporate/>
092-712-8517 受付時間/9:00AM~5:00PM 土・日・祝・年末休

約ビジネス」での運用を開始。カード番号が「355」から始まるJCBコーポレートカードを所有のうえで、同サービスに申込みをすれば、法人IDを取得し、パソコンやスマートフォンでいつでもどこでも新幹線や特急列車の予約が可能。利用日、利用区間・座席などを選択し、利用列車を予約するとみどりの窓口で決済に使用したJCBコーポレートカードと予約番号で切符が受け取れる。会社、部署ごとの一括精算で、立て替え

払いが不要になり効率的な出張精算が実現できる。一方、管理側は、予約内容や決済金額の把握が可能で出張コストを可視化でき、さらに、法人会員用の割引切符もあり、出張費のコスト削減も見込める。結果的に一人ひとりの社員の利用状況が管理しやすくなることでビジネスを最適化し、会社全体で大きなメリットが得られることになる。

安心と信頼のJCB

日本発唯一の国際ブランドをもつJCBの信頼性は高く、世界約3000万の加盟店があり、世界主要都市には海外サービス窓口「JCBプラザ」がある。カードの基本機能に加え、JCBコーポレートカードには出張の際、最高5000万円の旅行傷害保険が自動的に付帯し、出張ごとの掛け捨て保険に関する手続きの手間も省ける。たった一枚で簡単に業務効率化、内部統制強化、仕事のスピードアップなどさまざまな企業の課題に対応できる。「働き方改革」の実現へ、JCBで第一歩を。